

アジア太平洋論叢

第15号



KIAPS

アジア太平洋研究会

2005

**アジア太平洋論叢
第 15 号**

**アジア太平洋研究会
2005**

アジア太平洋論叢

第15号

目次

序	赤木 攻 …… 1
論説	
バンコクのシティー・コア再開発における政治力学 —バトゥムワン地区の事例—	河森正人 …… 3
四清運動をめぐる権力と村落	祁 建民 …… 21
「ムハージル民族」への視角 —エスニシティの「統合」をめぐる—	近藤高史 …… 45
ヒンディー語の知覚動詞文について	西岡美樹 …… 67
研究ノート	
ロシア軍の民主的統制に関する法制度：OSCE 行動規約からの評価	宮岡 勲 …… 99
内モンゴル近現代地域研究の新たな課題	周 太平 …… 121
資料	
北インドのムスリム社会における婚姻に関する規定について —<資料>ターナヴィー著『天国の装身具(<i>Bihishti Zewar</i>)』より—	渡邊真理 …… 131
アジア研究懇話会からアジア太平洋研究会へ、そして	濱口恒夫 …… 153
濱口先生のご業績について	山根 聡 …… 157
書評	
秋元英一・菅英輝共著『アメリカ20世紀史』、東京大学出版会、2003年	杉田米行 …… 167
アジア太平洋研究会会則 ……	173
『アジア太平洋論叢』投稿規定 ……	174
編集後記 ……	175

編集後記

本年3月に、長年、本研究会の運営にご尽力いただいた濱口先生が本学を定年退職された。毎年、研究会のメンバーが本学を去られるのは残念なことである。もちろん、研究会活動に参加できなくなるわけではないが、日頃大学でお会いできないのを残念に思うだけである。その意味で毎年行われる研究大会でお会い出来るのが一層楽しみになることであろう。

本号の執筆者は若手から第一線でご活躍されておられる研究者まで、幅広いものとなった。また、日本のみでなく中国の研究者からもご投稿をいただいたし、内容的にも多彩なものになった。この意味で本研究会の幅は着実に広がっている。ただ、本会の財政面での運営は厳しく、会員の負担のみでは、今後ますます困難に直面することが予想される。幸い今年度は、大学の特別研究費Ⅱの助成金をいただくことができた。来年度以降も学内外の何らかの資金が得られることを期待している。今年度はかなり刊行が遅くなったとはいえ、ともあれ無事刊行できたことを会員の皆様と喜びたい。出版費用の問題はあるが、次号も引き続き質の高い内容としたいと考えている。例年通り、4月ごろまでご投稿いただければ、編集委員による査読後9月ごろには刊行できるのではないかと考えている。多くの皆様からの投稿を期待している。

また、来年度も例年6、7月中に行っている研究大会、総会も予定している。その研究大会にも多くの会員が参加されることを願っている。

(高山正樹)

HISTORICAL ABSTRACTS および *AMERICA: HISTORY AND LIFE* に本誌の要約・索引が掲載されています。

アジア太平洋論叢 第15号

2005年11月30日 発行
編集兼 アジア太平洋研究会
発行者 高山正樹
〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1
大阪外国語大学気付
TEL.072-730-5111(代)
印刷所 (株)アイジイ
〒531-0072 大阪市北区豊崎7-7-710
TEL06-6371-0321